



# コツコツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和4年6月30日  
NO. 45



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

体験や外部の方から学ぶ！

今日は体験学習日

17世紀チェコの教育家で一貫性と普遍性を備えた教育論を提示した人物で、近代的な教授学の祖ともいわれるヤン・アモス・コメニウスは、

「賢くなろうとして本や黒板に教を乞うてはならない。天と地と林と木の葉とは、本当に子供らを賢くするであろう。」

という言葉を残しています。

今日6月30日(木)は、総合的な学習の時間の体験学習日です。各学年とも目的をもち、教室を離れて、様々な場所で、地域の方や外部の方を先生に、体験を交えながら、課題解決のために自らの学びに取り組みました。その中で、「太田の『よさ』」に気付いたり、『課題』に目を向けたり、『未来』を考えたり、そして、『自分の将来』と真剣に向き合ったりしたものと思います。

各学年部からは、以前に計画が出されていますので、自分のお子さんの活動等についてはご存知だとは思いますが、この体験学習の内容や考えたことなどを食卓の話題の一つにさせていただき、今後の学習への意欲付けをしていただければ幸いです。

体験学習の各学年の主な内容は次の通りです。

## 【1年生】

### ○認知症サポーター養成講習

高齢化社会の現代に、認知症は身近にある、避けては通れないものです。認知症の介護施設も増えていきますし、自宅で介護なさっている方も多々いると思います。私も母を、親類を、認知症が原因で亡くした1人です。認知症は決して他人事ではありませんし、これからは、全国民が、社会全体が認知症を理解し、認知症に関わっていかねばならないと言っても言い過ぎではないと思っています。

そこで、大仙市高齢者包括支援センターのご協力を得て、「体験学習を通して認知症についての理解を深めるとともに、家庭や地域の一員として貢献しようとする意欲を高める」ことをねらいとして、認知症サポーター養成講座を受講しました。

昨年は、全校で受講し、2・3年生は既に認知症サポーターです。1年生は講座受講後、参加の証としてサポーターカードをいただきました。これで今日から太中生、太中職員全員はサポーターカード取得者「認知症サポーター」です。これを機に、社会問題にもなっている福祉についての意識・関心をさらに高めていきたいと考えておりますし、8月末にも福祉についての体験学習を計画しています。

## 【2年生】

### ○職場訪問・中学生の福祉の仕事セミナー

コロナ禍の影響で、ここ2年間実施を見合わせていた職場訪問を、CS推進員の細川良隆さんにコーディネートいただき、「職場の様子や働く人の姿を通して、働くことの意義や働く人の思いを知る」「職業への関心を高め、自分の将来を具体的に考えるための機会とする」ことをねらいに、太田地域12の事業所で実施させていただきました。

三共光学(株)太田工場、中里温泉、ヴァンパール、おばこライフサービス太田給油所、ファミリーマート大仙太田店、わんぱくランドすくすく園・のびのび園、太田支所、JA秋田おばこ野菜出荷所・東部営農センター、大曲消防署東分署、太田診療所

の皆様、細川さんに深く感謝いたします。

小グループで職場訪問をして仕事や働くこと等について考えた後は、介護施設の方を講師に、職場訪問先にはない介護分野の仕事について、全員で体験したり説明を聞いたりしながら学びました。

秋には、地域に根ざしたキャリア教育の充実のために、今回の学習を踏まえて、「地域との接点を求め、望ましい職業観や勤労観を育てること、自分の将来を深く考えること」を大きなねらいとして職場体験を予定しています。

## 【3年生】

### ○上級学校訪問

3年生は全員が進学希望で、高校選択が差し迫った目標になります。高校については、夏休みに体験入学があります。中学校卒業後の進路について、体験を通して考え、実現への意欲を高め、努力をしていかなければなりません、その後の将来をも見越して決定していくことも大切です。そこで、「高校卒業後の進路先でもある専門学校や大学の施設見学や授業への参加を通して、学ぶことや働くことについて考え、進路選択への視野を広げる」ことをねらいとして、秋田コアビジネスカレッジ専門学校、日本赤十字秋田看護大学を訪問してきました。まだ遠い先のことと思うかも知れませんが、様々な経験、刺激は将来に生きるものとなるはずで

す。また、あと9ヶ月で卒業し、それぞれの道を歩む3年生にとって、仲間同士の絆を深めることも大切なねらいになります。全員で秋田市に行く機会ほとんどないでしょう。そこで、絆を深める一つになればと考え、先頃秋田市にできた「秋田芸術劇場ミルハス」の見学も行い、仲間同士の絆を深め、中学校生活の思い出も増やしてきました。

なお、体験学習の子どもたちの様子は、別号で写真でもお伝えします。